

浜中町立散布小中学校だより

第5号



発行者 散布小中学校

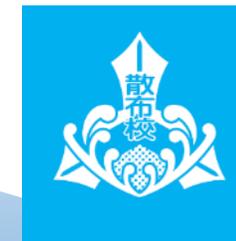
校長 大山 淳子

発行日 令和7年8月29日(金)

進んで
やりぬく
子ども

＝学校教育目標＝

- みんな仲良く生活する子どもになろう
- 深く考え進んで勉強する子どもになろう
- 健康な体と心をつくる子どもになろう
- きまりを守り最後までやりぬく子どもになろう
- 身のまわりを美しくできる子どもになろう



『防災の日に寄せて』

校長 大山 淳子

27日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。始業式の日には玄関に立っていると、「夏休み楽しかったです！」と嬉しそうに話す子、「夏休みが終わってしまった…」と残念がる子など様々な様子がみられました。小学校では、朝学習の時間を活用し「夏休み思い出発表」が行われました。一人一人が夏休みの思い出を生き生きと話しており、家族とともに充実した夏休みを過ごせたことがよくわかり、聞いているこちらもうれしい気持ちになりました。

さて、9月1日は「防災の日」です。なぜ、この日が防災の日に定められているかという、大きく2つの理由があるそうです。1つ目は、1923年9月1日に関東大震災が発生し、地震やそれに伴う火災で多くの死傷者が出たという事実を風化させないためというのはよく知られている理由です。2つ目の理由は、この時期が伝統的に台風の襲来が多い「厄日」とされてきたことです。立春から数えて210日目にあたる9月1日頃を「二百十日(にひゃくとおか)」と呼び、古くから農家の人々は稲の収穫期を前に台風を警戒してきました。実際、1959年に日本を襲った「伊勢湾台風」が戦後最大の風水害をもたらし、9月1日を防災の日と制定する後押しとなった出来事になったそうです。つまり「防災の日」は、地震と台風という、日本が直面する二大災害への備えを象徴する日だそうです。

夏休み中の7月30日、カムチャツカ半島付近で起きたマグニチュード8.7を超える大きな地震で、北海道沿岸にも津波警報が出されました。津波注意報の時点で、予定されていた中学校の学習会と部活動を中止し、津波警報に切り替わった時点で出勤していた教職員で避難を行いました。実際に避難を体験してみて、改めて考えることが多くありました。天候のこと、季節のこと、また東日本大震災のときもそうでしたが、大きい地震の後だと津波警報が解除されるまでに1日、津波注意報の解除までを含めると2日間という長い時間が必要になるということなど、日頃の備えについて考えさせられる点が多くありました。

本校では、災害や緊急時に対応するためのマニュアルを整備していますが、子どもたちの安全を守るためにも、改善をしていくことが大切であると改めて感じさせられる出来事でした。9月1日の「防災の日」を機に再度これまでの備えについて、見直していきたいと思えます。また、ご家庭でも防災について話し合う機会をぜひ持っていただければと思います。非常持ち出し袋の準備や、家族での避難場所の確認など、日常の中でできる備えはたくさんあります。学校と家庭が連携し、子どもたちの安全を守る力を育てていきましょう。

さて、2学期が始まりました。行事や学習が盛りだくさんのこの学期は、子どもたちが大きく成長するチャンスに満ちています。一人一人が目標を持ち、仲間と協力しながら挑戦する姿を大切にしていきたいと思えます。始業式では、何かにチャレンジする際に失敗することは悪いことではないこと、失敗から学んで次の成功につなげてほしいと話しました。教職員一同、子どもたちの「できた!」という喜びを積み重ねられるよう、丁寧に支えてまいります。2学期もよろしくお願いいたします。

行事や下校時刻は、あくまでも予定です。週ごとの学年通信等でご確認ください。

日	曜	9月の行事予定	小:下校	中:下校
1	月	避難訓練週間	14:20/15:20	15:20
2	火	小:シマフクロウエイド植樹活動	14:00/15:00	15:00
3	水	4時間授業(町内の先生方の研修会のため)	13:00	13:00
4	木	小:水泳教室③	14:00/15:00	15:00
5	金	小:スクールカウンセラー来校日	14:20/15:20	15:20
6	土	町民駅伝大会		
7	日			
8	月	(シマフクロウエイド植樹活動予備日)	14:20/15:20	15:20
9	火	小:クラブ 中:芸術劇場	14:00/15:10	15:20
10	水	中3:学力テスト総合A 職員会議	14:20	14:20
11	木	小中一貫校開設推進委員会①	14:20/15:20	15:20
12	金	小中:委員会	14:00/15:30	15:30
13	土			
14	日			
15	月	敬老の日		
16	火	朝会	14:20/15:20	15:20
17	水	小34:社会見学	14:20	14:20
18	木	小56:修学旅行 中:前期期末テスト	14:20/15:20	15:20
19	金	小56:修学旅行 中:スクールカウンセラー来校日	14:20/15:20	15:20
20	土			
21	日			
22	月	小:遠足	14:40	15:20
23	火	秋分の日		
24	水		14:20/15:20	14:20
25	木	中23:職場体験学習	14:20/15:20	15:20
26	金	中23:職場体験学習 小:委員会	14:00/15:30	15:20
27	土	町民マラソン大会		
28	日			
29	月	参観週間(~10/3) 小34:食の指導 小56:水辺の事故防止の体験講習会 中委員会	14:20/15:20	15:30
30	火	へき複交流学習② 小:クラブ	14:00/15:10	15:20

令和7年度第1回学校評価の結果について

★7月に実施いたしました第1回学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。【回収率100%】
お忙しい中ご協力いただき、大変ありがとうございました。

目指す子どもの姿	No.	評価項目	設 問(保護者)	実施日	児童・生徒			保護者			教職員			
					小	中	平均	小	中	平均	小	中	平均	
みんな仲良く生活する子どもになろう	1	生徒指導 いじめ・不登校防止	学校は、子供を理解し、悩みや課題に丁寧に寄り添うなど、いじめや不登校がない学校づくりに取り組んでいる。	R6.12	3.9	3.4	3.8	3.6	3.0	3.4	0人	3.8	3.5	3.6
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.7	3.4	3.6	0人	4.0	3.4	3.7
	2	特別支援教育	学校は、お子さんの個性を大切に、得意・不得意に応じた指導をしている。	R6.12	3.9	3.3	3.8	3.6	3.3	3.6	3人	3.8	3.5	3.6
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.8	3.3	3.6	2人	4.0	3.6	3.7
深く考え進んで勉強する子どもになろう	3	授業改善	学校は、お子さんが主体的に参加したり話し合ったりする授業作りをしている。	R6.12	3.8	3.3	3.6	3.7	3.0	3.5	1人	3.6	3.0	3.4
				R7.7	3.8	3.4	3.7	3.9	3.4	3.7	1人	3.8	3.3	3.5
	4	家庭学習	学校は、お子さんの家庭での学習習慣が身につくよう、取り組み方を指導している。	R6.12	3.7	3.0	3.5	3.7	3.5	3.6	2人	2.8	2.5	2.8
				R7.7	3.6	2.9	3.4	3.7	3.4	3.6	3人	3.2	2.6	3.0
健康な体と心をつくる子どもになろう	5	保健管理	学校は、お子さんの心と体が健康で安全な生活ができるように努めている。	R6.12	3.7	3.3	3.6	3.5	3.4	3.5	0人	3.9	3.5	3.6
				R7.7	3.8	3.2	3.6	3.6	3.4	3.5	1人	4.0	3.6	3.8
	6	体力向上	学校は、お子さんの体力を向上させるための取組を行っている。	R6.12	3.9	3.1	3.7	3.6	3.0	3.5	2人	3.9	3.8	3.8
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.6	3.5	3.5	2人	4.0	3.6	3.8
きまりを守り最後までやりぬく子どもになろう	7	道徳教育	学校は、「きまりを守る」「相手を思いやる」などの道徳性を身につけるための指導を行っている。	R6.12	3.8	3.3	3.7	3.5	3.0	3.4	0人	3.6	2.8	3.4
				R7.7	4.0	3.2	3.7	3.8	3.1	3.6	0人	3.8	3.3	3.6
	8	キャリア教育	学校は、子供一人ひとりが自立を目指して成長できる教育活動を行っている。	R6.12	3.7	3.1	3.5	3.6	3.0	3.5	4人	3.4	2.8	3.2
				R7.7	3.9	3.2	3.7	3.6	3.0	3.4	1人	3.8	2.7	3.3
身のまわりを美しくできる子どもになろう	9	生活習慣	学校は、子供に望ましい基本的な生活習慣が身につくよう、指導している。	R6.12	3.8	3.2	3.6	3.7	3.2	3.6	3人	3.1	2.7	3.0
				R7.7	3.9	3.3	3.7	3.7	3.3	3.5	2人	3.0	2.7	2.9
	10	環境美化	学校は、校内の環境美化に努め、子供たちに整理整頓の大切さや意味について指導している。	R6.12	3.8	3.3	3.7	3.6	3.5	3.6	4人	3.1	2.5	2.8
				R7.7	3.9	3.5	3.8	3.6	3.0	3.4	2人	3.4	3.0	3.3
その他	11	安全管理	学校は、避難訓練、登下校指導など、非常時や日常の防災・安全指導を行っている。	R6.12	3.9	3.7	3.8	3.7	3.4	3.6	0人	3.6	3.7	3.6
				R7.7	4.0	3.8	3.9	3.7	3.5	3.6	1人	3.6	3.7	3.7
	12	家庭・地域との連携	学校は、授業参観やお便り、家庭訪問、電話、ホームページなど、家庭や地域との連携に努めている。	R6.12				3.8	3.7	3.7	1人	4.0	3.8	3.8
				R7.7				3.7	3.6	3.7	0人	4.0	3.7	3.9

学校評価の目的は、教育活動の改善策を見出し、学校の教育水準のさらなる向上を目指すことにあります。皆様から頂戴した評価やご意見をもとに、改善を図ってまいります。

《考察・今後に向けての取組》

○全体としては、概ね良好な評価をいただけたのではないかととらえています。前回調査と比較して、各項目の数値も全体的に上昇傾向にあります。一方で、評価の下降傾向の部分(中生徒4番、中保護者10番)もありますので、結果を真摯に受け止め、より児童生徒の実態や心情に寄り添い、改善に努めてまいります。

- ・家庭での学習については、保護者のみなさまから概ね良い評価をいただいています。一方で、中学生を中心に「どう進めていいかわからない」との声もあり、学習の進め方そのものを丁寧に支えています。
- ・児童生徒の人数が少ない中でも、校内が比較的きれいに保たれている点は、ご評価をいただいています。限られた人数と時間の中ではありますが、こまめな美化に引き続き取り組んでいきます。
- ・安全や家庭・地域とのつながりについては、毎回高い評価をいただき、大変ありがたく感じています。これからも、子どもたちが安心して通える学校づくりを目指し、丁寧な対応を心がけていきます。
- ・学校行事については、この地域ならではの活動として一定の評価をいただいています。子どもたちの成長につながるよう、それぞれの行事にしっかりと目的をもたせ、より充実したものにしていきます。
- ・子どもたちがより過ごしやすい学校生活を送れるよう、日課や校則の見直しが必要な時期にきていると感じています。小中一貫校の開設も視野に入れながら、ゆとりある学校づくりを進めていきます。
- ・小学校と中学校のつながりを意識した教育の充実が、これまで以上に大切になっています。教職員同士がしっかりと連携をとり、「チーム学校」としてぶれのない対応をしていきます。

中3：2回目の保育所訪問を行いました

当初7月15日に予定していたこの活動ですが、当日は台風の影響により実施を見送ることとなりました。延期を経て、27日(水)、準備を整えて2回目の訪問に向かうことができました。

今回の訪問にあたって、生徒たちは「小さな子どもたちにとっては安全で楽しい時間を過ごしてもらえるか」という視点で、事前にアイデアを出し合いながら準備を進めてきました。遊び方を工夫したり、簡単なルールを考えたり、手作りの遊具を作成したりと、それぞれの役割を持って活動に取り組んでいました。

当日は、園児たちが生徒の呼びかけに元気に応えながら、遊びや手作りおもちゃ、遊具を思いきり楽しんでくれている様子がとても印象的でした。やりとりを通じて笑顔が広がり、生徒たちも自然と表情がほころんでいました。

活動を終えて学校に戻った生徒からは、「すごく楽しかったけど、思ったより大変だった」という声が多く聞かれました。子どもたちと関わる中で、遊びを通して伝えることの難しさや、保育所の先生方のご苦労、そして子育てのやりがいや責任の重さについて、実感を持って学ぶ機会になったようです。

今回も温かく迎えてくださった散布保育所の皆様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



小：思い出発表

小学校では、夏休み明けの8月22日(金)から28日(木)にかけて、児童一人ひとりが夏の思い出を発表する取組を行いました。どの子ども、自分らしい言葉で夏休みに体験したことや感じたことをしっかりと伝えてくれました。

大きな学校では、こうした発表の場は代表者に限られることも多いですが、本校では少人数という特性を生かして、全員に発表の機会があります。一人ひとりが主役になれる場だからこそ、子どもたちは「自分の番」として意識を持ち、しっかり準備をして臨むことができました。

旅行やキャンプ、家族との時間、地域の行事、あるいは家で取り組んだことなど、内容はそれぞれでしたが、どの発表にも子どもたちの成長や頑張りが感じられ、聞く側の表情も自然とやわらいでいました。自分の思いを相手に伝える力、相手の話をしっかりと聞く力を、こうした機会の中で少しずつ育てています。

これからも、子どもたち一人ひとりにしっかりと光が当たるような活動を大切にしていきたいと思えます。

